

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	子ども虐待防止事業				事業番号	014-057	
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	
			有	取組の方向性	③重大な児童虐待ゼロをめざした取組				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs未来都市計画		無	現状値	—		目標値	—	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール16平和と公正をすべての人に		ターゲット	16.2	
			有	取組	児童虐待の防止に向けた取組の強化				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市こども計画					
3	事業開始年度			平成 12 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、堺市子どもを虐待から守る条例					

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁						
6	事業の対象		①子ども虐待防止に関わる関係機関と②市民					対象数	単位
								-	-
7	事業の目的		子ども虐待の未然防止、虐待の早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもの保護とその保護者への指導、支援						
8	事業内容		◎関係機関の連携・・・市全体の虐待通告の把握及び各機関の調整や情報の集約、分析を行うほか、関係機関間の連絡会議や研修の実施等を行う。 ◎虐待防止等の啓発・・・虐待に関する理解や認識を深め、虐待に気づいた際に、どこへ相談・通告したらよいのかを幅広く周知するための啓発を行う。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容								
9	主な支出先								
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	虐待の未然防止および重篤化防止に向けた関係機関による早期発見・早期対応						
	当該目標を設定した理由	重大な児童虐待ゼロのために必要な取組のため。					
	目標に対する実績	オレンジ・パープルリボンキャンペーン等の啓発活動、虐待相談対応、ケース連絡会、個別ケースカンファレンスの実施。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	児童虐待相談対応件数	件	目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		実績値	3,688	3,957			
		達成率	—	—			
	当該指標を選定した理由	早期対応及び継続的な支援により児童虐待の重篤化を防止することに寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	現状把握の指標として設定しており、対応件数の増加をめざしているのではないため、目標値は設定しない。						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	子ども虐待防止事業	事業番号	014-057
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	18,826	21,022	27,043	25,567	32,514
	財 国支出金	4,184	3,949	5,588	3,065	4,471
	源 府支出金	63	98	120	103	114
	内 市債	0	0	0		0
	記 その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	14,579	16,975	21,335	22,399	27,929
14	人件費（b）	10,000	9,900	10,000	10,000	10,300
15	年間経費（c）=(a)+(b)	28,826	30,922	37,043	35,567	42,814

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	事業費内訳	会計年度任用職員報酬		13,877	13,877	謝礼金	R6	決算	222	74
				17,214	17,214		R7	予算	224	74
		期末勤勉手当（会計年度任用職員）		4,335	4,335	オレンジリボンキャンペーン推進事業委託料	R6	決算	237	119
				4,937	4,937		R7	予算	242	121
		費用弁償（通勤費）		926	926	児童虐待LINE相談に要する他市への負担金	R6	決算	5,446	2,724
				1,165	1,165		R7	予算	8,000	4,000
		精神科医との連携強化に係る費用の負担金		2	1	会場等借上料	R6	決算	52	18
				60	30		R7	予算	61	14
		印刷製本費		238	120	その他（費用弁償等）	R6	決算	232	205
				300	150		R7	予算	311	224

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 虐待相談対応件数	件	3,688	3,957
	② 上記①にかかる年間経費	千円	30,922	35,567
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	8,385	8,988
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	児童虐待対応件数は増加傾向となっている。虐待相談対応件数について、各区子育て支援課の件数は昨年よりも減少しているが、堺市子ども相談所の虐待相談対応件数が増加となっている。以前、個々の相談、通告に対し緊張感を持った対応が求められる状況である。 本事業により、子ども虐待の未然防止、虐待の早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもの保護とその保護者への支援に繋がっている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	重大な児童虐待ゼロをめざした取組として、堺プレイザーズの協力による啓発活動等といった市独自の啓発活動をはじめ、オール大阪での児童虐待防止の取組や近畿2府4県4政令指定都市との共同取組等の広域での児童虐待防止の取組を連携して行っている。また、市全体の虐待通告の把握及び各機関の調整や情報の集約、分析を行うほか、関係機関間の連絡会議や研修等の実施を行っている。 さまざまな取組を行うことで、子ども虐待の未然防止及び虐待を受けた子どもの見守りや保護、保護者への指導・支援をすることで、子どもが安心安全な環境で、可能な限り家庭での生活を送ることができている。
----	--